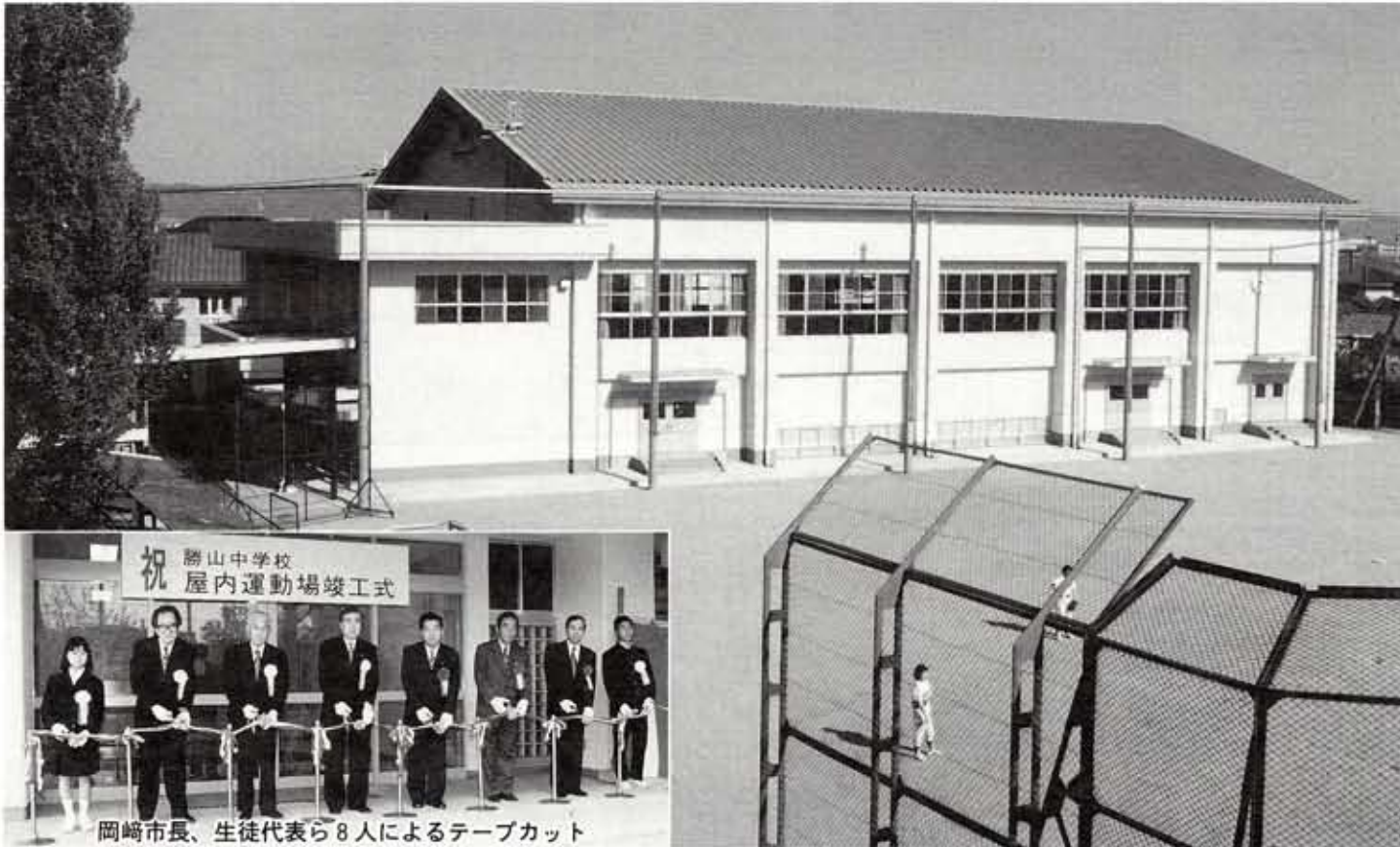


勝山中学校新体育館が完成



今年、創立50周年を迎えた市立勝山中学校の新屋内運動場が完成し、4月18日(金)竣工式が行われました。



岡崎市長、生徒代表ら8人によるテープカット



関係者ら約300人が出席し完成を祝った竣工式

竣工式には、関係者や生徒ら約300人が参加、まず正面玄関前で岡崎市長ら8人によるテープカットが行われ、完成を祝いました。式典では、岡崎市長が「新しい時代を担う子どもたちの体力や勉学の向上に大きく役立つものと確信しています」とあいさつしました。

総事業費2億9389万円をかけた、この屋内運動場は、鉄筋コンクリート造り2階建て、延べ床面積1336平方メートルで、1階にアリーナ(729平方メートル)器具庫、2階には小体育室(94平方メートル)、更衣室などを設けています。このほか、京都府の「福祉のまちづくり条例」に基づきスロープや手すり・点字ブロック・身体障害者用トイレも設置しています。

式典に引き続き、勝山中学校吹奏楽部による記念演奏があり、会場の雰囲気盛り上げました。

新屋内運動場は、この日の竣工式に先立ち、すでに始業式、入学式で使用されており、6月には、創立50周年記念式典を行うことになっています。

『鶏冠井かしの木公園』オープン

耐震性防火水槽など防災機能も完備

鶏冠井町北井戸のJR東海道線の隣接地に「鶏冠井かしの木公園」が完成しました。この公園は、敷地面積987平方メートルで、地下には60トンの耐震性防火水槽、公園の南側には防火器具を収納した防災倉庫を設置し、防災拠点公園としての機能を備えています。

公園の周囲には、耐火性の高い樫の木と、市民の花木であるツツジを植栽しています。また、ふだんは市民のくつろぎの場になるよう、パーゴラ(日陰)ベンチや背伸ばしベンチ、ぶら下がり器具を設置しているほか、高齢者や身体障害者にも利用しやすいように、ブロック舗装、スロープ、障害者用トイレなどを設けています。



ぶらさがり器具も設置。ふれあいと健康づくりの場に!



背のばしベンチでリフレッシュを



防災拠点としての機能も備えた「鶏冠井かしの木公園」

非常用食糧・水・毛布なども収納している防災倉庫

